

2023年3月期第2四半期（累計）

（2022年4月1日～2022年9月30日）

決算参考資料

2022年11月14日



東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 新型感染症影響下における進捗状況	-5-
3. 店舗展開の状況	-6-
4. 2023年3月期第2四半期（累計）業績概況	-8-
5. 財政・キャッシュフローの概況	-9-
6. 第2四半期（累計）のトピックス	-10-
7. 2023年3月期について	-15-

連結対象企業の事業内容



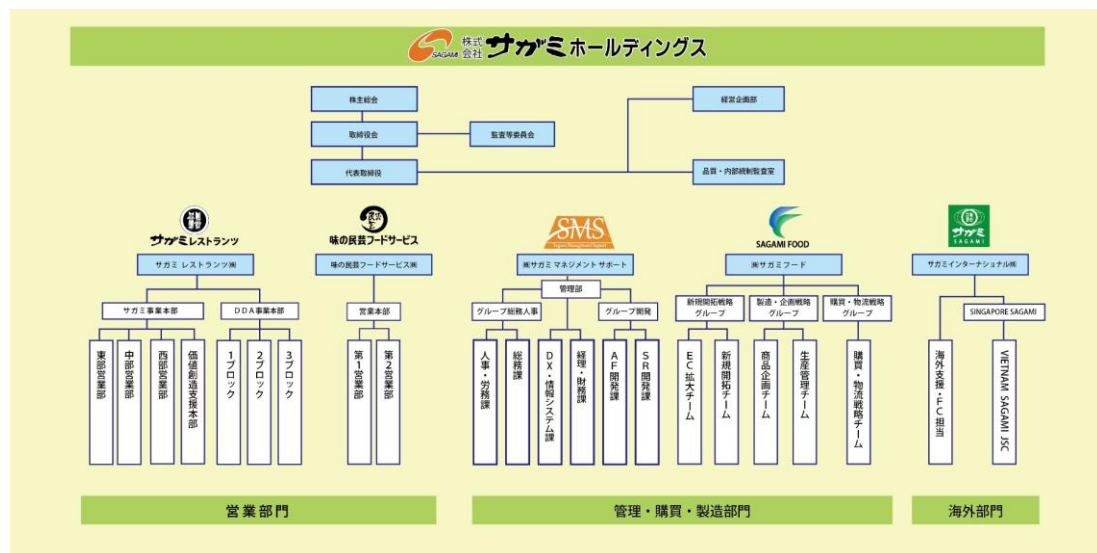
連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,250,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	飲食店の経営

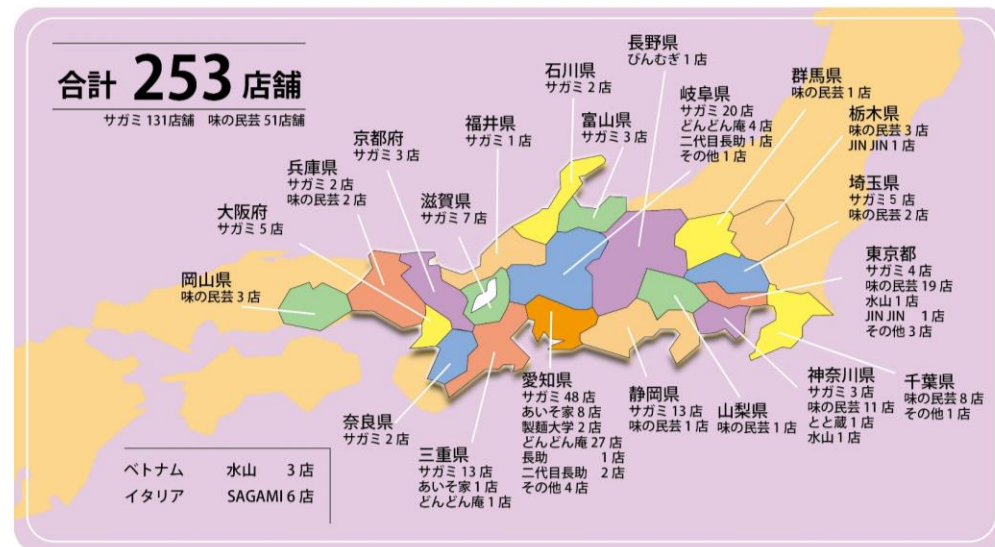
連結対象企業の事業内容



サガミグループ組織図



地域別店舗分布

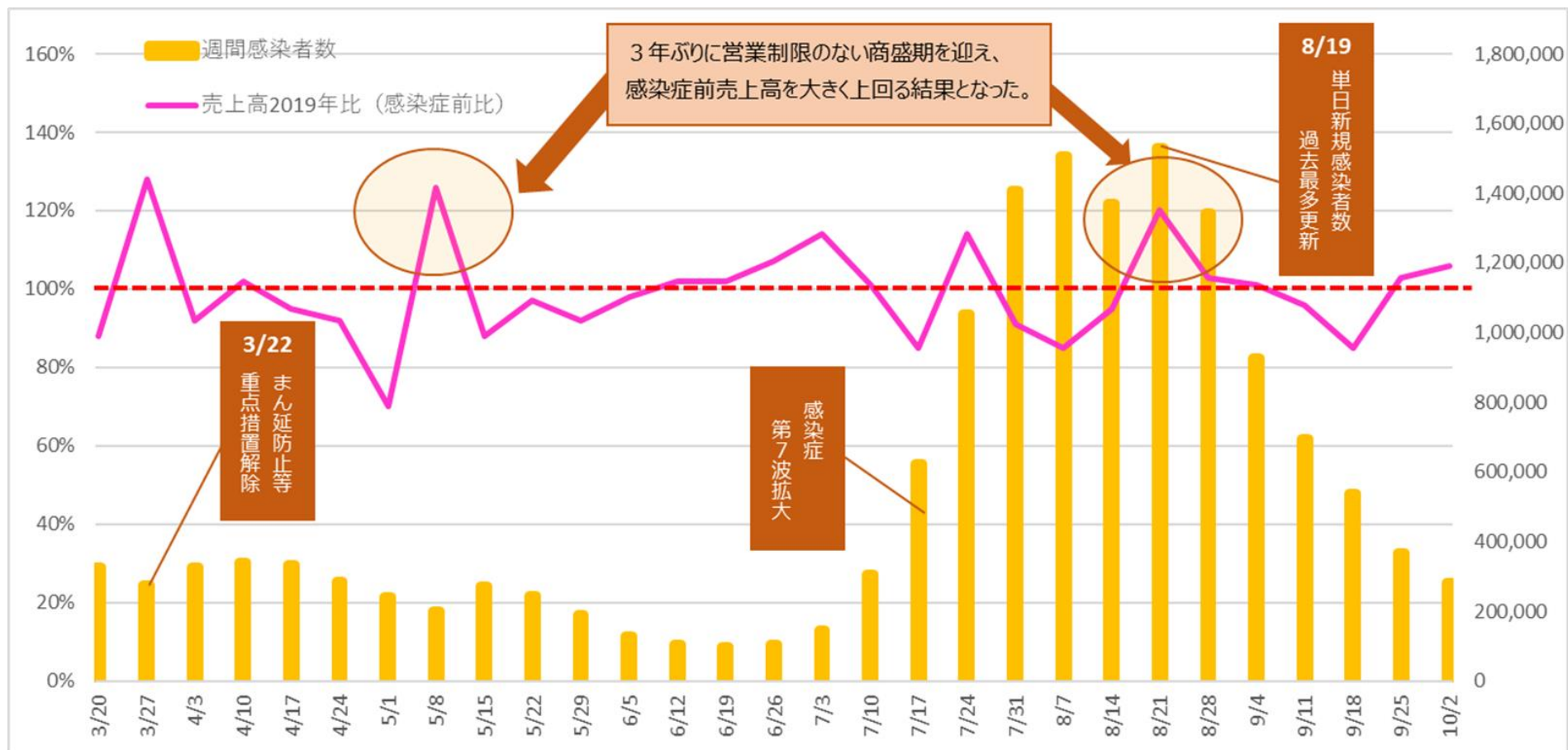


- ◆ サガミレストランツ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、あいそ家業態、長助業態、かつたに業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ベトナム事業の統轄を行っております。

新型感染症影響下における進捗状況

感染状況と主力業態売上高 2019年比推移(週間集計数値)

単位：人



➤ 感染症第7波の拡大により、一時的に影響はあったものの上半期を通して堅調に推移

店舗展開の状況

	2022年 3月期	2023年3月期 第2四半期			2023年3月期 計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	132	1	2	131	4	3	133
どんどん庵 (FC店舗含む)	32	-	-	32	-	-	32
味の民芸 (FC店舗含む)	52	-	1	51	1	1	52
団欒食堂あいそ家	9	-	-	9	-	-	9
長助・二代目長助	3	1	-	4	3	-	6
ぶぶか	2	-	-	2	-	-	2
その他国内店舗 (FC店舗含む)	15	-	-	15	-	2	13
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	1	2
海外 イタリア (FC店舗)	6	1	1	6	2	-	8
合計	254	3	4	253	10	7	257

◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麺処サガミ業態
2022年9月に「半田インター店」を開店いたしました。
おもてなしやおいしさといった「価値創造分野」に人的資源を集中させ、セルフレジの導入など作業の効率化による生産性向上と、コロナ禍での新生活様式にも対応した店舗となっております。
2022年5月に「西大津店」、8月に「藤枝店」を閉店いたしました。
これにより、当第2四半期末の店舗数は131店舗となりました。
- ◆ 味の民芸業態
2022年8月に「西国分寺店」を閉店いたしました。
これにより、当第2四半期末の店舗数はFC店舗を含め51店舗となりました。
- ◆ その他業態
2022年5月に「十割そば二代目長助 岐阜岩滝店」を開店いたしました。

海外店舗展開

- ◆ イタリア
2022年4月に「SAGAMI Bellinzago Lombardo店」をFC店舗として開店いたしました。
2022年8月に「SAGAMI Siena店」を閉店いたしました。

以上により、2022年9月末のグループ店舗数は、国内244店舗、海外9店舗の計253店舗であります。



2023年3月期第2四半期（累計）業績概況



連結ベースの経営成績

（単位：百万円/円）

	2022年3月期 第2四半期（累計）	当初計画 第2四半期（累計） （2022.5.13発表）	2023年3月期 第2四半期（累計）	計画差異
売上高	9,805	12,500	12,845	345
営業利益 ※1	△561	165	665	500
経常利益 ※2	451	176	1,323	1,147
当期純利益	363	55	1,007	952
一株あたり 当期純利益	12.63	1.86	33.41	31.55

※1 雇用調整助成金収入37百万円を販売費及び一般管理費から控除しております。

※2 営業時間短縮に伴う協力金等収入542百万円を含んでおります。

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円/%)	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	24,164	24,032
純資産	15,059	15,961
自己資本比率	62.3	66.4

連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2022年3月期 第2四半期 (累計)	2023年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	650	757
投資活動によるキャッシュフロー	△408	△574
財務活動によるキャッシュフロー	1,875	△662

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は603百万円（2022年3月期第2四半期累計実績378百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は179百万円（2022年3月期第2四半期累計実績192百万円）となりました。

第2四半期（累計）のトピックス①

サガミホールディングス

- ◆ 3期ぶりに復配
今後の事業展開や財務状況を総合的に判断し、復配に向けた環境が整ったものと判断し1株あたり、5円の配当を実施いたしました。
- ◆ 全店一斉休業の実施
従業員の働く環境改善の一環として、5月2日に主力業態である「和食麺処サガミ」、「味の民芸」を始めとしたグループ全店を、一斉休業いたしました。2023年1月にも同様の休業を予定しております。
- ◆ コロナ慰労金支給
コロナ禍で働く従業員への慰労と、生活物価の上昇への対応としてコロナ慰労金を支給いたしました。
- ◆ CDP※回答
東証プライム上場企業に送付された、CDP「気候変動質問書」への回答を実施いたしました。
- ◆ 協力購買の取り組み開始 【共創 和や会（きょうそう なごやかかい）】
資源価格高騰に伴う対応策として、2022年10月1日より消耗品などの協力購買の取り組みを開始いたしました。今後も協業を通じてお客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。



※CDPとは、イギリスで設立された国際的な環境非営利団体（NGO）で、正式名称は、Carbon Disclosure Projectです。

第2四半期（累計）のトピックス②

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

サガミ業態について

- ◆ モーニング営業実施店舗拡大
愛知県全店で実施しているモーニング営業を岐阜県、三重県、静岡県、滋賀県、兵庫県の一部店舗に拡大いたしました。現在は66店舗で実施しており、今後も拡大してまいります。
- ◆ サガミ公式アプリ開始
9月26日よりサガミの公式アプリでのサービスを開始いたしました。店舗の席予約、お持ち帰りのご注文や、お得なクーポン情報などを提供しております。
- ◆ 冷凍自動販売機設置
お客様のニーズの変化に柔軟に対応するため、お持ち帰り商品の店内販売に加え、24時間購入可能な冷凍自動販売機を店舗前に設置いたしました。現在、6店舗に設置しており、大変ご好評をいただいております。今後も設置店舗の拡大及び販売商品の拡充を行ってまいります。
- ◆ スマート化プロジェクト
ロボティクス・DX・IT化を進めることによる生産性向上に取り組んでおります。効率化機器として、洗米機・グラス洗浄機をはじめ、待合システムを積極導入しました。また一部店舗では、配膳ロボなどを試験導入いたしました。



第2四半期（累計）のトピックス③

サガミレストランツ（DDA事業本部）

長助業態について

- ◆ 2021年10月の十割そば長助岩倉店の開店以降、セルフサービス形態を取り入れることによってリーズナブルな価格設定を実現しつつ、十割そば特有のそばの香りやのど越しを楽しんでいただくことができ、お客様から好評をいただいております。
- ◆ かき揚げ十割そば長助では、名物の『かき揚げ』や『厚切り肉』を使用した期間限定のメニューを随時投入しております。特徴である『大判かき揚げ』や、豚バラを店舗で下処理し柔らかく煮込んだ『厚切り肉』などお客様に高い評価をいただいております。
今後も二代目長助を含め、3年で10店舗の店舗展開を目指します。



どんどん庵業態について

- ◆ お客様の生活応援として、4月に「麺大盛分無料キャンペーン」、5月に「GO!どんどん庵クーポンキャンペーン」を実施いたしました。
- ◆ 新型コロナでの行動制限がない夏商戦となり、天候にも恵まれたことから客数は回復傾向に推移しております。元々強いランチタイムだけでなく、ディナータイムの客数も回復傾向となっております。



第2四半期（累計）のトピックス④

味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

- ◆お客様感謝企画として『夏の大感謝祭』を開催いたしました。
人気の串カツおよびアルコール商品のお値打ち価格での提供に加え、店内飲食およびテイクアウトで利用できる割引クーポンを配布いたしました。
- ◆店舗への設備投資として、作業の効率化および、新たなおもてなしへの変化を目的とし、テーブルオーダーシステムの導入を進めてまいりました。
テーブルオーダーシステムは味の民芸業態において約6割にあたる31店舗で導入となりました。今後、全店での導入を計画しております。
- ◆本年度より販促ツールとして活用しているアプリケーションのLINEでは9月末でお友達数が60,000人となりました。LINEでは、メニュー変更やキャンペーンの告知等のタイムリーな情報発信を行っております。

小型業態について

- ◆商業施設に出店している店舗では、3年ぶりに各種行動制限のない「夏休み」の影響もあり、8月期の売上前年比は140%を超える回復となりました。
- ◆らーめん専門店ぶぶか「吉祥寺北口店」では、創業以来27年続けて販売していた、細麺のとんこつらーめんの販売を終了し、中太麺を使用したとんこつ醤油らーめん「極丸」（きわまる）の販売を開始いたしました。



第2四半期（累計）のトピックス⑤

サガミインターナショナル

ベトナム事業について

- ◆ ベトナムでは、水山業態を展開しております。7月にベトナム進出6周年をむかえ、コロナ以降の経済回復も著しく、5月以降コロナ前の売上高を上回る推移となっております。
- ◆ 3号店で導入した鍋メニューが好評で、来店客の半数以上が注文される人気メニューとなっております。
- ◆ ベトナム事業の展開の強化に向け、フランチャイズでの店舗網拡大を視野に入れた、ベトナム国内におけるパートナーシップの構築を進めてまいります。

イタリア事業について

- ◆ 2022年4月に「SAGAMI Bellinzago Lombardo店」をFC店舗として開店し、6店舗体制となりました。
- ◆ 既存店の売上については好調を維持し、9月の既存店売上高は進出以来、過去最高となりました。
- ◆ TikTok や Instagram の自社アカウントを通じた動画によるプロモーションを開始した他、インフルエンサーYouTuber の取材を受ける等、SNSによる情報発信を積極的に行い、多くの反響を得ております。



2023年3月期について

連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2022年3月期	当初計画 2023年3月期	計画(11.7公表) 2023年3月期
売上高	21,339	25,000	25,000
営業利益	△620	300	500
経常利益	2,253	320	1,150
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,192	100	650

2023年3月期について

- ◆ 価値の磨き上げ
基本的価値である、おいしさ・おもてなしの向上に妥協はありません。
“食と健康”の追求と共に、感染症対策にも積極的に取り組んでまいります。
- ◆ 業態ポートフォリオの再構築
社会・経済状況の変化を見据えた、既存事業のポジショニング再定義と見直しを実施。
また、自社の「強み」を活かした成長領域展開を促進します。
- ◆ ESG経営とSDGsの推進
「より良き社会・より良きサガミを次世代に」をテーマとして、環境改善や社会貢献活動の促進により、
社会と企業の持続的成長を実現します。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（1）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（2）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（3）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（4）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（5）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。